

サーバセットアップ手順書

2025年4月1日

1.0版

Copyright (c) 2025 Santec Japan Corporation

本書の目的

内容

本書は、DATA SEALED SAFER サーバのセットアップを効率的に行うことを目的としています。

前提と対象者

DATA SEALED SAFER サーバの管理を行う方を対象としております。また、Windows の基本的な操作方法を習得していることが前提です。

目次

1.	概要	<u>.</u>	3
	1.1	動作環境	3
	1.2	機能	3
	1.3	構成	4
2.	イン	マストール手順	5
	2.1	設定値の変更	5
	2.2	DATA SEALED SAFER インストール	9
	2.3	定期処理登録1	15
3.	アン	プリケーションフォルダ	!1
	3.1	バックアップ	21
4.	イン	マストール作業確認	!2
	4.1	DATA SEALED SAFER サーバをインストールした Windows サーバ	22
	4.2	パスワードの管理	22
	4.3	バックアップ	22
5.	サー	-バ導入自動化ツールの削除2	23
6.	ライ	⁷ センス	23
	6.1	ライセンス入手準備2	23
	6.2	ライセンス登録準備	23
	6.3	ライセンス登録の実施2	24
	6.4	ライセンス確認	24
7.	FAQ		25
	7.1	バッチファイル実行時に「管理者として実行」の選択を忘れました	25
	7.2	32bit 環境で「Installer.bat」を実行しました	25
	7.3	「Tools.bat」にてログインユーザのパスワードを間違えました	25
	7.4	既にインストールされている環境で「Installer.bat」を実行しました	26
	7.5	サーバ初期化に失敗しました	26
	7.6	次の処理に進みません	26

1. 概要

DATA SEALED SAFER は、以下ソフトウェアで構成されています。

- ・PostgreSQL サーバ
- ・DATA SEALED SAFER サーバ
- ・DATA SEALED SAFER マネージャクライアント
- ・DATA SEALED SAFER ユーザクライアント

DATA SEALED SAFER サーバをセットアップする場合「DATA SEALED SAFER ユーザクライアント」 以外の3種類のソフトウェアをインストールする必要がありますが、「サーバ導入自動化ツール」を用 いる事で、DATA SEALED SAFER サーバに必要な各ソフトウェアを簡単にインストールする事ができ ます。

以降では、セットアップ作業で使用する「サーバ導入自動化ツール」の概要および手順を記載します。

1.1 動作環境

サーバ導入自動化ツールは別紙「DATA SEALED SAFER 動作環境.pdf」に記載の環境で動作する事 を確認しています。

※日本語環境の OS 以外では対応しておりませんので注意ください。

1.2 機能

サーバ導入自動化ツールでは以下の機能を提供します。

■DATA SEALED SAFER インストール (Installer.bat)

- 1. PostgreSQL / サーバのインストール
- 2. サーバの初期設定、マネージャクライアントのインストール

■DATA SEALED SAFER アンインストール (UnInstaller.bat)

- 1. データベースの削除、マネージャクライアントのアンインストール
- 2. PostgreSQL / サーバのアンインストール

■定期処理ツール設定(Tools.bat)

- 1. postgres パスワードファイル生成 [postgres.dat]
- 2. 鍵 DB バックアップタスク設定 [MainServerTask]
- 3. ログ自動ローテーションタスク設定 [LogRotateTask]
- 4. タスク設定削除

Copyright © 2025 Santec Japan Corporation

1.3 構成

サーバ導入自動化ツールは以下のフォルダ・ファイルで構成されています。

フォルダ/ファイル名	機能
DCInstaller	各種インストーラを配置します。
DCSInit	サーバ初期設定、マネージャクライアントのインストール及び csv フ
	ァイルのインポートを行います。
DCSSetup	PostgreSOL、サーバのインストールを行います。
PortOpen	例外ポート(TCP 9044)の設定を行います。
Task	定期処理の設定を行います。
Installer.bat	インストールを実行するバッチです。
	「DCSSetup」、「DCSInit」を呼び出し、各種インストールを行います。
SetConfig.bat	一時的に変数を保持するバッチです。
SetEnv.bat	一時的に変数を設定するバッチです。
SetUserConfig.bat	インストール設定が記述されています。
	※PostgreSQL、DATA SEALED SAFER のパスワード、接続先を変更
	する際にはこちらのバッチを編集してください。
Tools.bat	定期処理を設定するバッチです。
	「Task」を呼び出し、各種タスクをタスクスケジューラに登録します。
Uninstaller.bat	アンインストールを実行するバッチです。
	「DCSInit」、「DCSSetup」を呼び出し、各種アンインストールを行い
	ます。

※DATA SEALED SAFER は、固定の設定値で使用いただくため、SetUserConfig.bat 以外は修正せ ずにそのまま使用してください。

2. インストール手順

各種ソフトウェアのインストール手順を記載します。

サーバ導入自動化ツールを実行する際は、全ての項目を同一マシン上で行ってください。 また、インストール作業は本手順書通りの順番で実行してください。

※必ず DATA SEALED SAFER 専用の Windows サーバを用意しインストールしてください。

2.1 設定値の変更

インストール作業の準備として、以下3点の設定値の変更作業が必要です。

- ・PostgreSQL 管理者 (postgres) のパスワード
- ・DATA SEALED SAFER サーバ接続先設定

・DATA SEALED SAFER サーバ管理者(Admin.cid)のパスワード

※パスワードを失念されますと、Windows サーバに故障等が生じた際に復旧が出来なくなる恐れ があります。

設定変更の手順を以下に記載します。

① サーバ導入自動化ツール内の「SetUserConfig.bat」ファイルを右クリックし、「編集」を選択します。



② 始めに、PostgreSQL管理者(postgres)のパスワードを変更します。
 文字列「DB_CONNECT_PASS」を検索します。

☐ SetUserConfig.bat - メモ帳	検索			×
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H) @echo off	検索する文字列(<u>N</u>):	DB_CONNECT_	PASS	次を検索(<u>F</u>)
@rem 導入するユーザ環境固有の環境変数を定 @rem ====================================			検索する方向	キャンセル
@rem ====================================	□ 大文字と小文字を図 □ 折り返しあり(R)	[別する(<u>C</u>)	○ ±^(U) ● 下^(D)	
@rem PostgreSQLのパスワードを指定します。 @rem 以下の記号を使うとエラーとなります。 @rem ! ″% & < > ¥ ^ + : @rem set <u>DB CONNECT PASS</u> ="postgres"	使用しないでくフ	ださい。		~

③ 「set DB_CONNECT_PASS」行にて PostgreSQL 管理者のパスワードを設定しています。
 ダブルクォーテーション("")で囲まれている文字列を変更してください。

※以下11記号は設定できませんのでご注意ください。

 $[!], ["], [\%], [\&], [<], [>], [¥], [^], []], [+], [:]$



④ 次に、DATA SEALED SAFER サーバの接続先設定を変更します。

文字列「DCS_HOST_NAME」を検索します。

	検索				×
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H) @rem @rem DATA SEALED SAFERサーバ 接続先設定	検索する文字列(<u>N</u>):	DCS_HOST_NA	ME		次を検索(<u>F</u>)
@rem サーバ名、又はIPアドレスを指定します。 @rem ※ %COMPUTERNAME% でコンピューター名が指す			検索する方向	1	キャンセル
@rem DATA SEALED SAFERクライアントが接続を試み	□大文字と小文字を図	[別する(<u>C</u>)	○上へ(U)	● 下へ(<u>D</u>)	
wrem ホスト名で使用でさる記号は「-」のみです。 @rem	… 折り返しあり(<u>R</u>)				
set DCS_HOSI_NAME= %COMPUTERNAME%	L				~

⑤ 「set DCS_HOST_NAME」行にて DATA SEALED SAFER サーバの接続先設定を行っています。 ダブルクォーテーション("")で囲まれている文字列をサーバの IP アドレスに変更してください。



⑥ 最後に、DATA SEALED SAFER サーバ管理者(Admin.cid)のパスワードを変更します。
 文字列「ADMIN_ID_PASS」を検索します。

☐ SetUserConfig.bat - メモ帳			_		×
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)	検索				\times
@rem @rem DATA SEALED SAFER 管理者パスワード	検索する文字列(<u>N</u>):	ADMIN_ID_PAS	55	次を想	粂索(E)
erem DATA SEALED SAFERの管理者パスワードを指定します。 @rem パスワードポリシーは「8文字以上128文字以下(英小文字:1文字以上、英大文字 @rem			検索する方向	++>	パセル
@rem 以下の記号を使うとエラーになります。使用しないでください。 @rem ! ″ % & < > ¥ ^	□ 大文字と小文字を図	区別する(<u>C</u>)	O L∧(U) ● F∧(D)		
@rem set ADMIN_ID_PASS="AdminPass@123"	□ 折り返しあり(ℝ)				
					\sim

⑦ 「set ADMIN_ID_PASS」行にてパスワードを設定しています。

ダブルクォーテーション("")で囲まれている文字列をパスワードポリシーに準じた任意のパ スワードを指定してください。

※以下9記号は設定できませんのでご注意ください。

 $[!], ["], [\%], [\&], [<], [>], [¥], [^], []$

SetUserConfig.bat - メモ帳		×
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)		
@rem @rem DATA SEALED SAFER 管理者パスワード @rem DATA SEALED SAFER 管理者パスワード		^
@rem DATA SEALED SAFERの管理者パスワードを指定します。 @rem JATA SEALED SAFERの管理者パスワードを指定します。 @rem パスワードポリシーは「8文字以上128文字以下(英小文字:1文字以上、英大文字:1文字以上、数字:1文字以上、記号1文字以上) @rem	」です	0
@rem 以下の記号を使うとエラーになります。使用しないでください。 @rem ! ″ % & < > ¥ ^ @rem		
set ADMIN_ID_PASS=" <mark>AdminPass@123</mark> "		~

⑧ 「Ctrl」+「S」などで設定変更を保存後、「SetUserConfig.bat」ファイルを閉じます。

インストール設定の変更作業は以上です。

2.2 DATA SEALED SAFER インストール

① サーバ導入自動化ツール内の「Installer.bat」を右クリックし、「管理者として実行」を選択しま す。



② 「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合は、「はい」を選択します。

ユ-ザ-アカウント制御 × このアプリがデバイスに変更を加えることを許可します か?				
Windows コマンド プロセッサ 確認済みの発行元: Microsoft Windows				
はい	เนเริ			

③ メニュー画面が表示されますので「1」を入力し、「Enter」キーを押します。



④ インストール時の設定内容が表示されますので、PostgreSQLのパスワードが表示されます のでご確認後、「y」を入力し、「Enter」キーを押します。

C:¥Windows¥System32¥cmd.exe	—		\times
====================================			^
*** PostgreSQL *** インストールディレクトリ:"C:¥Program Files¥PostgreSQL¥1 データディレクトリ:"C:¥Program Files¥PostgreSQl¥16¥data 接続アカウント/パスワード:"postgres"/"postgres@123"	6″ ″		
*** サーバ *** インストールディレクトリ : "C∶¥Program Files¥DATA SEALED	SAFER¥S	Server″	,
*** インストールログ *** "C:¥DATA SEALED SAFER¥log¥install.log"			
上記設定でインストールを開始します。よろしいですか?(y/n) > <mark>y_</mark>		
			\sim

⑤ インストールが開始され、使用許諾契約書が表示されますので、記載内容を確認後、 「はい」を選択します。



⑥ 「正常終了しました。」メッセージを確認後、何かキーを押し、メニュー画面に戻ります。



⑦ 再度メニュー画面が表示されますので「2」を入力し、「Enter」キーを押します。



⑧ インストール時の設定内容が表示されますので、管理者パスワードとサーバ名を確認後、 「y」を入力し、「Enter」キーを押します。



⑨ インストールが開始されます。

C:¥Windows¥System32¥cmd.exe	—	\times
DB作成を行っています...		~
サーバ設定ファイル作成を行っています...		
サーバ初期化を行っています。		
処理ディレクトリンCI¥DATA SEALED SAFER¥管理		
ファイアワオール例外設定を行っています...		
マネーンヤクライアントのインストールを行っています...		

⑩ 「正常終了しました。」メッセージを確認後、何かキーを押し、メニュー画面に戻ります。



⑪ 再度メニュー画面が表示されますので「E」を入力し、「Enter」キーを押します。



⑩ 何かキーを押します。コマンドプロントが終了します。



インストール作業は以上です。

2.3 定期処理登録

① サーバ導入自動化ツール内の「Tools.bat」を右クリックし、「管理者として実行」を選択します。



② 「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合は、「はい」を選択します。



③ メニュー画面が表示されますので「1」を入力し、「Enter」キーを押します。



④ 確認メッセージが表示されますので、処理番号を確認後、

「y」を入力し、「Enter」キーを押します。



⑤ 「正常終了しました。」メッセージを確認後、何かキーを押し、メニュー画面に戻ります。

C:¥Windows¥System32¥cmd.exe	—	\times
成功:パスワード難読化用ファイルのコピー		~
<u>成功 : postgres.dat</u> ファイルの作成		
正常終了しました。		
続行するには何かギーを押してください... 🛓		
		~

⑥ 再度メニュー画面が表示されますので「2」を入力し、「Enter」キーを押します。



⑦ 確認メッセージが表示されますので、処理番号を確認後、

「y」を入力し、「Enter」キーを押します。



⑧ Windows サーバのログインユーザパスワードを入力します。



⑨ 「正常終了しました。」メッセージを確認後、何かキーを押し、メニュー画面に戻ります。



⑩ 再度メニュー画面が表示されますので「3」を入力し、「Enter」キーを押します。



- ① 確認メッセージが表示されますので、処理番号を確認後、
 - 「y」を入力し、「Enter」キーを押します。



¹² Windows サーバのログインユーザパスワードを入力します。



③ 「正常終了しました。」メッセージを確認後、何かキーを押し、メニュー画面に戻ります。

C:¥Windows¥System32¥cmd.exe	—		×
タスクスケジューラの登録を行います。			~
現ユーザのログインパスワード(終了する場合は『E』)を入力してください。	>passv	vord	
<u>成功: スケジュール</u> タスク "DATA SEALED SAFER¥LogRotateTask" は正しく作!	成され?	ました。	
正常終了しました。			
続行するには何かキーを押してください 🖕			

⑭ 再度メニュー画面が表示されますので「E」を入力し、「Enter」キーを押します。



⑤ 何かキーを押します。コマンドプロントが終了します。



 ⑥ 上記の手順で「タスクスケジューラ」の「DATA SEALED SAFER」フォルダ内の「task」フォ ルダに「MainServerTask.bat」「LogRotateTask.bat」の二つのタスクが作成されます。
 拡張子が非表示になっている場合がございます。

正しく定期処理が登録されているか確認のため、別紙「DATA SEALED SAFER 運用マニュア ル.pdf」-「9.3 手動操作でのメンテナンス作業」を参考に、「MainServerTask.bat」を手動実行し、 問題無く実行できた事を確認します。 状態が「実行中」から「準備完了」に変わります。

🕑 タスク スケジューラ ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H) 🗢 🌩 🖄 📰 👔 🖬 🕑 タスク スケジューラ (ローカル) ▲ 名前 状態 トリガー タスク スケジューラ ライブラリ
 タスク スケジューラ ライブラリ 🕒 Mai DATA SEALED SAFER LogRotateTask 実行する(R ; 月, 6 月, 7 月, 8 月, 9 月, 10 月, 11 月, 12 月の1、1:30 に起 Microsoft 準備完了 2025/0 終了(E) 無効(I) エクスポート(X)... プロパティ(P) 削除(D)

定期処理の登録作業は以上です。

3. アプリケーションフォルダ

サーバ導入自動化ツールのアプリケーションフォルダ(C:¥DATA SEALED SAFER)について記載します。

パス	説明
C:¥DATA SEALED SAFER¥管理	管理者が利用するファイルが配置されます。
C:¥DATA SEALED SAFER¥log	インストール/アンインストール時の作業ログと設定値がファイルとして出力され
	ます。
	設定値のファイルにはインストール時のパスワード等が記載されています。構築
	後は削除可能です。
C:¥DATA SEALED SAFER¥task	定期処理の実行ファイルが配置されます。
C:¥DATA SEALED SAFER¥tool	サーバ復旧作業時に使用するツールが配置されます。
C:¥DATA SEALED SAFER¥key-dump	定期処理の「MainServerTask」により鍵 DB のバックアップファイルが出力されま
	す。

※「key-dump」フォルダはタスクスケジューラに登録した定期処理の初回実行時に生成されます。

3.1 バックアップ

※サーバのハードウェア障害等で失われると以下ファイルは復旧できません。暗号化されたファ イルが読めなくなる可能性があるため、以下ファイルを含む「管理」および「key-dump」フォル ダは DATA SEALED SAFER サーバのインストール後、必ずファイルサーバなど外部媒体にバッ クアップを行ってください。

また、ユーザアカウント作成や追加、無効化などの作業を行った際も必ず外部媒体にバックアッ プを行ってください。最新のバックアップを取る際は別紙「DATA SEALED SAFER 運用マニュ アル.pdf」-「9.3 手動操作でのメンテナンス作業」を参考に、「MainServerTask.bat」を手動実行し てください。

設定を誤り設定変更前の状態に戻したい場合や、万が一 Windows サーバが故障した際などにバッ クアップが取られていないと暗号化したファイルが使用できなくなる恐れがあります。

DATA SEALED SAFER サーバの復旧方法は別紙「サーバ復旧手順書」をご参照ください。

フォルダ名	ファイル名	説明
C:¥DATA SEALED SAFER¥管理	Admin.cid	管理者 ID ファイル
	Register.dat	ライセンス発行用ファイル
	Reissue1.dat	管理者 ID ファイル再発行用ファイル 1
	Reissue2.dat	管理者 ID ファイル再発行用ファイル 2
	Reissue3.dat	管理者 ID ファイル再発行用ファイル 3
C:¥DATA SEALED SAFER¥key-dump	keydb-dumpYYYYMMDD.sql	鍵 DB バックアップファイル

4. インストール作業確認

インストール完了後に下記作業を実施したことの確認をしてください。 万が一作業漏れがある場合、Windows サーバの故障などのトラブル時に復旧できず、暗号化したファ イルの復号化が出来なくなる恐れがあります。

4.1 DATA SEALED SAFER サーバをインストールした Windows サーバの確認

DATA SEALED SAFER サーバをインストールした Windows サーバには、DATA SEALED SAFER サー バのみがインストールされた状態か DATA SEALED SAFER サーバはデータベースを有するため、Windows サーバ上で他のアプリケーシ

DATA SEALED SAFEK リーハロノーク・ヘースを有りるため、windows リーハエ (他の) クリクーク ョンとの同梱はお控えください。(P5 参照)

4.2 パスワードの管理

DATA SEALED SAFER サーバをインストールした際に設定した以下のパスワードは、失念されます と DATA SEALED SAFER サーバへログインが出来なくなるだけでなく、Windows サーバの入れ替え や Windows サーバの故障等に伴う復旧が出来ず、暗号化したファイルの復号化が出来ない恐れがあ りますので失念しないよう管理してください。(P6~P8 参照)

- ・PostgreSQL 管理者 (postgres) のパスワード
- ・DATA SEALED SAFER サーバ管理者(Admin.cid)のパスワード

4.3 バックアップ

最新のバックアップを取っていないと万が一の際に DATA SEALED SAFER サーバの復旧が出来ず、 暗号化したファイルの復号化が出来なくなる恐れがあります。 以下の2つのフォルダを外部媒体に保管してください。 DATA SEALED SAFER サーバの設定を変更した際も同様に保管してください。(P21)

- ・C:¥DATA SEALED SAFER¥管理
- C:¥DATA SEALED SAFER¥key-dump

5. サーバ導入自動化ツールの削除

※必ずパスワードを管理したあとに実施してください。

Windows サーバに DATA SEALED SAFER サーバをインストールする際に使用したサーバ導入自動化 ツールフォルダを削除します。

また、C:¥DATA SEALED SAFER¥log フォルダ内にある以下の2つのファイルを削除します。

- DCSSetup_report.log
- DCSInit_report.log

DATA SEALED SAFER サーバのインストールは以上になります。

6. ライセンス

DATA SEALED SAFER サーバにご契約のライセンス情報を登録します。 **※DATA SEALED SAFER サーバインストール後 30 日以内に以下の作業を完了してください。**

6.1 ライセンス入手準備

【C:¥DATA SEALED SAFER¥管理】フォルダ内にあるライセンス発行用ファイル「Register.dat」を santec Japan 株式会社よりインストール URL のご案内として送られているメール「表題;【DATA SEALD SAFER】 インストール URL のご案内 (〇〇〇株式会社様)」へファイル名を編集せずメ ールに添付してご返送ください。

6.2 ライセンス登録準備

santec Japan 株式会社よりライセンス登録用ファイル「License.dat」を送付いたします。 C:¥Program Files¥DATA SEALED SAFER¥Server 内に「License.dat」を保存します。 ※6.1 ライセンス入手準備の際の「Register.dat」があるフォルダと異なります。 ※License.dat の発行には数営業日かかります。

6.3 ライセンス登録の実施

Windowsのスタートメニューより「DATA SEALED SAFER」-「ライセンス登録」をクリックします。 コマンドプロンプトが起動し、キー入力を求められますので、「Enter」キーなどを押して処理を続行 させます。



6.4 ライセンス確認

Windows のスタートメニューより「DATA SEALED SAFER」-「ライセンス確認」をクリックします。

コマンドプロンプトが起動し、以下のライセンス情報が表示されますので、正しくライセンス情報 が反映されている事を確認し、「Enter」キーなどを押して処理を終了します。

・License count
・License count in use
・License period
・License registration
・ライセンス認証の状態



以上で DATA SEALED SAFER サーバのセットアップは終了です。

別紙運用マニュアルを参照し DATA SEALED SAFER サーバにてユーザ作成等を行ってください。

7. FAQ

7.1 バッチファイル実行時に「管理者として実行」の選択を忘れました

管理者権限が必要な処理を実施しています。

「管理者として実行」を行っていない場合は下図のメッセージが表示されますので 再度バッチファイルを選択いただき、「管理者として実行」をお願いします。

G C:¥Windows¥system32¥cmd.exe	_	×
右クリックより「管理者として実行」をお願いします。		^
終了します。 続行するには何かキーを押してください _		

7.2 32bit 環境で「Installer.bat」を実行しました

サーバ導入自動化ツールは 64bit 環境用のインストーラを実行していますので、64bir 環境でのみ 実行可能です。

32bit 環境ではサーバ導入自動化ツールは実行できませんので、ご注意ください。

C:¥Windows¥System32¥cmd.exe	_	×
32BITマシンのため自動インストールできません。 手動にてインストールをお願いします。		^
終了します。 続行するには何かキーを押してください		~

7.3 「Tools.bat」にてログインユーザのパスワードを間違えました

タスクスケジューラに定期処理を登録する際にログインユーザのパスワードが必要です。

入力時にパスワードを間違えた場合は強制的に処理が中断されますので、

再度同じ処理を実行し、正しいパスワードを入力ください。



7.4 既にインストールされている環境で「Installer.bat」を実行しました

「DATA SEALED SAFER サーバ」または「DATA SEALED SAFER マネージャクライアント」が既 にインストールされている環境でサーバ導入自動化ツールの実行を試みた際は、インストール前 に処理を中止しています。

DATA SEALED SAFER サーバをインストール済みの Windows サーバでのサーバ導入自動化ツール の実行はサポートしておりませんので、インストールされている DATA SEALED SAFER サーバア プリケーションをアンインストール後、再度「Installer.bat」を実行ください。

C:¥Windows¥System32¥cmd.exe	_		\times
マネージャクライアントが既にインストールされているため、	処理を中断し	ます。	^
症痛終了しました。 続行するには何かキーを押してください			

7.5 サーバ初期化に失敗しました

Admin.cid のパスワードがパスワードポリシーを満たしていない場合、管理者 ID の生成処理に不 具合が発生する可能性があります。

下図のエラーが発生した際は、「2.1 設定値の変更」で変更した Admin.cid のパスワードがパスワ ードポリシーに準拠している事を確認してください。



7.6 次の処理に進みません

処理実行時にコマンドプロンプトをクリックすると選択モードとなり、次の処理に進まない事が あります。選択モードになった場合は、コマンドプロンプトのタイトルバーをクリックしエンター ボタンを押下し選択モードを解除してください。



Copyright © 2025 Santec Japan Corporation

本書に含まれるすべてのテキスト、図表は santec Japan 株式会社の独占的所有物であり、顧客の個人的かつ非営利目的での使用に供するものです。

santec Japan 株式会社からの文書による承諾なしに、本内容のいかなる部分をも、いかようにも、修 正し、複写し、配布し、送信し、展示し、実演し、再生し、出版し、ライセンスし、類似物を製作 し、譲渡し、使用もしくは販売することはできません。

本書の情報は、通告なしに変更される場合があり、santec Japan 株式会社の側に責任あるいは説明義務が生じることはありません。

その他記載の会社名や商品名は、それぞれ各社・各団体の商標または登録商標です。

Copyright © 2025 Santec Japan Corporation